



「元旦」に思う

校長 尾崎 淳一

明けましておめでとうございます。令和8年もよろしくお願いいたします。
さて、私は年末の集会において、竜北生の皆さんに次の4点について話しました。

① 令和7年の「新語・流行語大賞」について

トップ10には、「トランプ関税」「エッホエッホ」「古古古米」「昭和100年」「二季」などが選ばれた。しかし、もっと流行した言葉があるはず。

② 令和7年の「今年の漢字」について

世間では、人間の生活を脅かした「熊」だそうだ。私はもちろん、竜北中の「竜」である。ドラゴンズも4年連続の最下位を免れたそうなので、めでたいことだ。

③ 竜北生の「よさ」について

慣れない環境に、ぶるぶると震えてばかりいる小さな子猫のような私にとって、竜北生の「明るさ」「優しさ」「温かさ」が身に沁みた。体育大会や文化祭では、「竜北生の熱い魂」を感じることができ、嬉しかった。今後の活躍も期待している。

④ 年末年始の楽しみについて

私の年末年始の予定はたった一つ。この竜北中学校から「初日の出」を拝むこと。きっと多くの竜北生も訪れると予想している。



本日は、令和8年1月1日。朝6時半から、日の出をじっと待ちました。東の空がだんだんと橙色に色付き始め、午前7時を過ぎた頃、見事な「令和8年の初日の出」を拝むことができました。私は「全ての竜北生の健康」と「竜北3年生の皆さんの新たな道での活躍」を眩い太陽に祈りました。ちなみに、2名の素敵な竜北生と3名の竜北教職員とご一緒することができました。私は、皆さんの分まで元日の有難い朝日を浴びておきましたが、自分のお願いごととはできませんでした。誠に残念です……。

ところで、『万葉集』は奈良時代末期に成立したとされる日本最古の和歌集です。そこに掲載された約4500首の締め括りに、次の和歌が載っています。

「新しき 年の初めの 初春の 今日降る雪の いや重け吉事」 大伴家持

(「あらたしき としのはじめの はつはるの けふふるゆきの いやしけよごと」 おおとものやかもち)

今から1300年も前の歌人も、「新しい年の初めの初春の、今日降る雪のように、良いことがもっとありますように」と、元日には一年間の幸せを願っていたのですね。何だか急に「百人一首」、いや「坊主めくり」がやりたくなってきました。皆さんもいかが？

それでは、令和8年も竜北生の皆さんが充実した「竜北ライフ」を過ごせるよう、心から願っています。どんな時も、己の夢と希望を胸に抱いて、「竜北生、Go!!」

穏やかな令和8年のお正月を迎えることができました。保護者の皆様も、ますますご健勝のことと、心よりお慶び申し上げます。今年も竜北教職員一同、「竜北生」のために、真摯に教育に取り組む覚悟ですので、温かいご支援を賜ることができれば幸いです。

(令和8年1月1日)